

## 令和元年度（2019年度）道南ブロックミーティング アンケート

### 【Q1】今回の現地研修の内容はどうでしたか？

#### （1）現地視察 東谷野菜加工施設

- ・野菜、山菜などの乾燥加工やこうれん、黒豆ドンの販売は良いと思うが、目指す方向性が明確になっていないと思う。方向性が決まると色々と広がりが出ると思う。
- ・今の状態を良しとするのか、もっと地域との関係を深めていくのか分からないが、活動自体は素晴らしいと感心した。
- ・東谷さんの乾燥野菜には興味があったので、経緯や取組など聞いたことは、加工品製作の参考になった。乾燥機が見られなくて残念だった。
- ・廃校を町から借りて使用されている。家内工場的な経営ではもったいないように感じる。
- ・常に工夫され、努力されている様子が話からうかがえた。
- ・ふるさとに戻り自家野菜や地域資源を活用して起業することは地域活性化に大きく貢献している。今後の活動も楽しみにしている。

#### （2）現地視察 札幌酒精工業(株)厚沢部工場

- ・道南で黄金千貫をいち早くつくり、道南（北海道）でもサツマイモが上手につくれることを知ったのが、札幌酒精工業が厚沢部に工場を作ったときのことだった。あの時の勢いはないかもしれないが、地域雇用の企業として存続してほしい。
- ・開業時にも見学させてもらったが、全体的に設備が進化していたことに驚いた。
- ・試飲した「喜多里」は、口当たりよく飲みやすかった。イベントを開催したら良いと思う。
- ・新規作物導入で収入確保、地域名の発信、従業員確保といった話が印象として残った。思っていた作付面積と違い残念だが、継続できていることが重要だと思う。
- ・企業の立場の話で、地域と関わりを持っていくのかは難しいか。住民側としては、「この企業が地域にあって良かった」「これからもずっと稼働してほしい」と思えるようなイベントがあると良いと思う。

#### （3）活動報告 檜山南部サヤエンドウ生産組合の取組について

- ・地元のJA、行政、レストラン、高校と連携して活動できていて素晴らしい。
- ・地元の特産品としてサヤエンドウがあることを認識されていないことに驚いた。広く住民に対して、“絹さや”のPRをしていかなければならないと思う。地元で安く販売できる方法を考えるのが良いと思う。
- ・上ノ国町でサヤエンドウが30年以上も栽培されている特産品とは、今回の報告を聞くまで知らなかった。B品の利用については、乳幼児の離乳食やペースト・フレーク作りが良いと思う。
- ・予想していたよりも意見交換ができ、色々な参考意見をいただき感謝している。期待に添えるようにして参りたい。
- ・サヤエンドウの栽培が40年近くになり、北海道屈指の産地であることを初めて知った。色々な料理に使用されていることに驚いた。
- ・特産品、農産物の普及は地域経済の底上げに影響することで、大いに参考になる取組。

#### (4) ワークショップ

- ・ふる水事業の良さをどのようにアピールするのか。指導員不足の解消や市町村に対する PR 活動をすることも大切だと思う
- ・ブロックミーティングは地域内指導員交流の場として継続してもらいたいし、そのためにも多くの方に参加してもらえる内容を検討して参りたい。ある程度、時間にゆとりを持ったものにしていきたい。
- ・指導員の掘り起しに関しては、文書による依頼だけでなく、担当者が地元関係者に説明し、協力をいただけるような働きかけをお願いしたい。
- ・今後、函館市や北斗市、森町などで指導員になってくれそうな方を見つけ、声かけをして推薦をできるよう心がけたい。
- ・会議の出欠については、欠席者に欠席理由の聞き取りをした方が良いと思う。
- ・現地研修やブロックミーティングに関しては、近隣の市町村のことを詳しく知ることができ、学習になる。
- ・現地研修も必要だと思う反面、意見交換の時間を長くして交流を深める点に重点を置いた内容も検討したい。活動報告ではなく、近況報告のようなものでも良いと思う。

【Q2】ワークショップで議論した内容以外で、ふる水事業で見直すべき点があれば御記入ください。

- ・研修会の案内について、通常の経路では案内が届くまで時間がかかるので、日程を農村設計課から直接知らせてほしい。今年、参加できなかった研修でも、事前に分かっていたら参加できた。

【Q3】次回のブロックミーティングで取り上げてほしい内容があれば御記入下さい。

- ・野指導員を囲んだ懇談会をやっていただきたい。
- ・以前、ふる水で支援事業をしたが、その後、活動を継続できなくなったところの実情を知りたい（なぜダメになったのか？サポートはできていたのか？等）。成功事例もいいが、継続できないことの課題も聞きたい。
- ・ふる水の支援事業で最も成功し継続し続けている事業（年数や実績、今後の展望など）。
- ・指導員に活動報告をしてもらい、合わせて体験型の研修ができれば良いと思う。また、「道南ブロックにはまだまだネタが数多くありますよ！」という力強い言葉が印象的だった。

【Q4】ブロックミーティングや研修事業、ふる水事業全体に対しての御意見等がありましたら御記入ください。

- ・今回のブロックミーティングは交通の便が悪く、ご苦労されたと思うが、今後ともよろしくお願ひしたい。
- ・時間、人員の制約があるかもしれないが、体験実践的な研修があっても良いと思う。
- ・せめてブロックミーティングには、振興局担当者の参加をお願いしたいし、研修内容の協議にも要請があるときは積極的な動きをしてもらいたい。
- ・ふる水事業は本当に大切な事業だと思う。過去に参加した全国研修会でも、環境問題や地産地消、地域の6次加工品、町おこしなど参考になる事業を学習できた。今後、地域でどのように発信できるか分からないが、1つでも多く発信し、子供たちに体験できる機会を作りたい。今後、指導員になる次世代にもふる水事業の価値を説明できるよう、また繋げられるようコミュニケーションを大切にしたい。
- ・今回のブロックミーティングは、視察先の数が多く、1件当たりの時間が短いように感じた。
- ・指導員を増やせるよう積極的に活動したい。
- ・地域衰退の要因の1つに農家戸数の減少や後継者問題があると思う。女性の農家継承や、新規就農、第三者継承等の事例報告を聞きたい。